

学校法人呉学園 専門学校
日本デザイナー
学院

Wacom MobileStudio Proを推奨教材として導入。

求められる最先端の知識・技術習得のため積極的にデジタルツールを活用。

学校法人呉学園 専門学校 日本デザイナー学院

エンターテインメントからファッションまで、最先端の情報と人が集まる街、渋谷にキャンパスを構える専門学校日本デザイナー学院は、日本のグラフィックデザインの黎明期を代表するグラフィックデザイナー・山名文夫氏を初代校長にお迎えし、創立54年にわたり数多くのクリエイターを輩出してきた伝統ある専門学校です。同校では、すべての学科でデジタルツールを取り入れた教育を行っており、学校推奨の教材としてワコムのクリエイティブタブレットWacom MobileStudio Proを導入しています。

ndg.ac.jp

基礎を固めた上で

デジタル表現の技術を身に着けクリエイターに

専門学校日本デザイナー学院では、ビジュアルデザイン科、ソーシャルデザイン科、グラフィックデザイン科、イラストレーション科、インテリアデザイン科、コミックイラスト科、マンガ科の7学科すべてにおいて、積極的にデジタルツールを取り入れたクリエイティブ教育を行っています。

「あらゆる業界でデジタル技術を使えなければ仕事にならない時代なので、1年生の始めから、それぞれの分野の基礎を学ぶと同時に、デジタルに慣れるための教育を行っています」

現在は2年制のカリキュラム全体の6～7割がデジタルツールを用いた内容になっていますが、教務課長の野村佳弘さんによれば、クリエイター育成に必要な基礎の部分はしっかりと固めた上で、デジタルで表現する技術を身に着けることが重要だといいます。

「学校としては、クリエイティブ業界の最新事情を理解してカリキュラムに落とし込むことで、学生が最先端の知識や技術を使って、独自性・オリジナリティをもったクリエイターになってもらえるような教育を目指しています」

〈産学共同プロジェクト〉を通して実際に業界のプロに求められるクリエイティビティを学んだり、グローバルな人材育成を目指して海外研修を実施するなど、学校としての様々な取り組みの中に、液晶ペンタブレットを始めとするデジタルツールの導入も位置付けられています。

多くの課題制作とモチベーション維持を実現する Wacom MobileStudio Pro

同校のコミックイラスト科、マンガ学科では2015年より学校指定の教材としてワコムのクリエイティブタブレットの使用を推奨しており、いま両学科では多くの学生が最新のWacom MobileStudio Pro 13インチ



モデルを持って授業や課題の制作に臨んでいます。また2018年からは、九州校でも同機の使用を始めています。

「教室の据置きPCを使って学習することや、ノートPCやタブレットPCを貸し出すことも可能ですが、日常的にたくさん課題をこなす必要がある学生にとって、持ち運びできて24時間好きな時に液晶ペンタブレットを使えることに大きな意味があるのです。先々も使えない機器では学生も購入に不安がありますが、Wacom MobileStudio Proならプロのクリエイターも使っているものなので、卒業後も長く使い続けてもらえると思い導入しました」

学内では、全館でWi-Fiが解放されていることもあり、学期末の課題審査が近づくと、教室はもちろん学生ホールなどいたるところでWacom MobileStudio Proを取り出して作業したり、講師に相談したりする学生の姿を見るそうです。また、野村さんは、学生生活の向上の視点からもWacom MobileStudio Pro導入の有効性を実感しています。

「教材としては、ノートPCよりも持ち運びが楽で、毎日の通学で鞆に入れていても苦にならないのは大きなメリットです。小さなことですが、毎日繰り返すので、授業への出席率向上や学生のモチベーション維持にも一役かっています」

デジタルを活用することで 自分の表現を広げ極めることが可能に

両学科で講師を務める太田和敏先生も、教材としてWacom MobileStudio Proを導入することに大きな可能性を感じています。

「発色や描き味、思った通りの線が描ける8192レベルの筆圧感知性能にペンの追従性のよさなど、性能的にも学校教材として最高の液晶ペンタブレットだと思います。以前はCintiq Companion 2を使っていましたが、筆圧や画面の性能が上がったことで、絵を描く時のストレスがより軽減されました」

両学科の学生は、入学と同時に教材としてWacom MobileStudio Proを手に入れますが、1年生の前期は従来のアナログ画材を使った制作が中心となっています。入学時には、学生ごとにPCを使うスキルにかなりの差がありますが、アナログでイラストやマンガの基礎を身に着けると並行して、電源を入れるところから基本的なPCの使い方を学習することで、苦手意識を持つことなく、デジタルを自分の表現に取り入れられるようになると、太田先生はいます。

「最初は落書きでもいいからデジタルに慣れてもらい、ひと通り基礎を身に着けた上で、自分の表現の幅を広げるためにデジタルを活用してくれると思っています」

2年生からは本格的にデジタルでの実制作に取り組みますが、そこで液晶ペンタブレットを使うことのメリットは大きいといいます。

資料請求、ならびに製品に関するお問い合わせは、こちら

<https://tablet.wacom.co.jp/biz-education/inquiry/>

株式会社ワコム

〒160-6131 東京都新宿区西新宿8丁目17番1号 住友不動産新宿グランドタワー31階

電話でのお問い合わせ／資料請求は ☎ 0120-056-814 / Tel.03-5337-6704 受付時間 9:00～12:00/13:00～18:00 (土・日・祝日を除く)

© 2018 Wacom Co., Ltd. All rights reserved.

「マンガの仕上げなどはデジタルの方が圧倒的に早く、修正も楽にできますので、学生からのレスポンスの回数が増えて、より密度の濃い授業を行うことができます。学生も、失敗してもやり直しが容易ですので、緊張して筆が止まるようなことがなく、トライアル&エラーを繰り返して自分が納得できるまで制作できます。これはデジタルならではのメリットです」

実際に教材としてWacom MobileStudio Proを手にする学生も「液晶ペンタブレットだと線の引き直しもなくなり、線画がすごく早くなりました」 「紙に描いている感じに近いので描きやすく、絵も綺麗になりました」と好感触を抱いており、同機の導入が学生の制作意欲にも繋がっている感じが感じられました。

伝統校ならではの基礎を大切にクリエイティブ教育と、新しい表現や時代をとらえたクリエイティブワークを実現するためにデジタル技術を活用するカリキュラム。それを実現するためのツールとして、Wacom MobileStudio Proが選ばれています。

ワコムのクリエイティブタブレットを手にする未来のクリエイターたちが、豊かな創造力をもって渋谷の街から世界に羽ばたいていく、そんな姿に大きな期待が膨らみます。先端の教育を行うことが、次の世代に活躍できる才能を輩出することにつながっています。マンガイラスト学科の学生がCintiq Proを使って描いた漫画が、様々なメディアを通して発信される日がすぐにも訪れそうです。

